

平成 30 年度 文部科学省

「高等学校における次世代の学習ニーズを踏まえた指導の充実事業」

通信制課程卒業者の社会参加意識の向上にむけたキャリア教育指導法確立プロジェクト

～能動的な選択による進路実現にむけて～

学校法人 益田永島学園 明誠高等学校 広域通信制課程

目次

1. 調査研究のねらい	1
2. 調査研究の実施状況	1
2-1 調査研究の概要	
2-2 調査研究校	
2-3 調査研究の検討会議のメンバー	
2-4 調査研究の具体的内容等	
2-4-1 調査研究内容	
2-4-2 調査研究頻度および実施スケジュール	
2-4-3 調査研究実施手法	
3. 調査研究の成果	4
3-1 事業実施(トレーニング及びアンケート)結果にみるキャリア教育指導法の展望	
3-2 事業全体を通じた成果および考察	
4. 資料	22

1. 調査研究のねらい

「高等学校における次世代の学習ニーズ」とは、毎年文部科学省から出される「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」で問題とされていることであり、当法人ではさまざまな困難を理由に通信制高校に在籍している生徒の卒業時の進路未決定率の高さに注目し、「能動的な進路選択の意識向上」へと生徒を導く方法を考察していくとともに漏れのない進路決定を実現させる。この研究により確立された指導法は増え続ける通信制高校生徒の進路実現の一助となれるよう当法人内だけでなく全国に発信していく。

2. 調査研究の実施状況

2-1 調査研究の概要

本校通信制生徒すべてを指導対象とするため抱えている困難の大小、原因などはさまざまである。そこですでに得ている情報をもとに指導方法プロトタイプを作成し、実行をしながら生徒の状況観察の中で柔軟な対応をしつつ、定期的なアンケート調査とその分析により効果的な指導方法を確立していく。

2-2 調査研究校

区分	対象人数	アンケート有効回答者数
益田通信制課程	25名	11名
サポート校 松江 SHIP	9名	5名
サポート校 鳥取 SHIP	37名	26名
サポート校 福山 SHIP	11名	11名
サポート校 久留米 SHIP	31名	30名

2-3 調査研究の検討会議のメンバー

氏名	勤務先・職名等
桐村 豪文	国立学校法人弘前大学 教育学部 講師
多々良 淳子	国立学校法人大分大学 経済学部 非常勤講師
城市 博明	益田市教育委員会 参事
中島 英二	益田市教育委員会 子ども・若者支援センター 所長
山本 了輔	NPO 法人志塾フリースクール 理事長
岡本 昌浩	鳥根県教育庁益田教育事務所 所長
永島 一忠	学校法人益田永島学園 理事長
三浦 浩二	学校法人益田永島学園 明誠高校
和崎 順子	学校法人益田永島学園 明誠高校
酒井 俊紀	学校法人益田永島学園 明誠高校
松本 結衣	学校法人益田永島学園 明誠高校

2-4 調査研究の具体的内容等

2-4-1 調査研究内容

「通信制課程卒業者の社会参加意識の向上にむけた指導」をテーマに、社会意識の向上を目的とした SST 及び JST を企画実

施し、専門家の指導の下、一年を通じて調査分析を行い、効果的な指導方法を確立することを目的とする。

2-4-2 調査研究頻度および実施スケジュール

益 田	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
通常サポート	通年 平日 火曜日から金曜日 13時から16時											
検討会議							実施					
第0回ガイダンス					実施							
第0回アンケート					実施							
第1回JST						実施						
第1回アンケート						実施						
第2回JST									実施			
第2回アンケート									実施			
第3回JST											実施	
第3回アンケート											実施	

他 教 室	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第0回ガイダンス								福・久	松・鳥			
第0回アンケート								福・久	松・鳥			
第1回JST									福・松	鳥	久	
第1回アンケート									福・松	鳥	久	
第2回JST												
第2回アンケート												
第3回JST												
第3回アンケート												

福・福山 久・久留米 松・松江 鳥・鳥取

2-4-3 調査研究実施手法

本校広域通信制課程在籍生1・2年生に対し

(事前)アンケート → JST → アンケート

を1セット、それを3セットで1クールとし、1クール終了後に有用性等を検証する。本年度、実施したJSTは以下の1クール(益田のみ、他は途中)。

第0回 事前ガイダンス

→ 第0回アンケート

(別添資料 0-A)

第1回 職場対人技能トレーニング ～あいさつの意味～

→ 第1回アンケート

(別添資料 1-A1、1-A2、1-B、1-a ※a…教員のみ)

(別添資料 0-B)

第2回 ストレス回避とリラクゼーション技能トレーニング～ストレスと上手につきあう～

→ 第2回アンケート

(別添資料 2-A1、2-A2、2-A3、2-B、2-C1、2-C2)

(別添資料 0-B)

第3回 マニュアル作成技能トレーニング ～マニュアル作成への第一歩～

→ 第3回アンケート

(別添資料 3-A、3-B、3-C) アルミオイル玉作成の作業工程から

(別添資料 0-B)



(写真:益田 第0回ガイダンス1日目8月)



(写真:益田 第2回JST 12月)



(写真:鳥取 第1回JST 1月)



(写真:久留米 第1回JST 2月)

3. 調査研究の成果

3-1 事業実施(トレーニング及びアンケート)結果にみるキャリア教育指導法の展望

課題

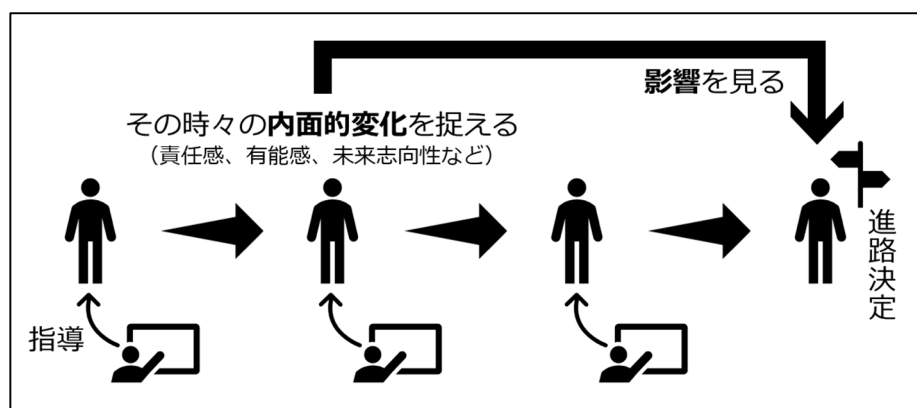
このプロジェクトは、高校生の進路未決定の問題について、キャリア教育のアプローチからその改善を期待するものである。

プロジェクト内では、実施したキャリア教育の指導法の効果を測るため、毎授業後にアンケート調査を実施した。その結果の分析を通して、キャリア教育の指導法の確立に一石を投じたい。

調査・分析の目的

(1) キャリア教育の指導法の確立に向けて、実施したキャリア教育の指導法の効果を分析し、今後の改善の検討材料に用いること。

(2) 職業決定/未決定を規定する要因を探ることにより、キャリア教育の指導法において必要となる視座を得ること。今回の調査・分析はその第一段階であり、今後は、調査対象者による進路決定との間でそれを規定する要因を探る必要があり、その中でこのキャリア教育の指導法の効果の有無やその程度を見定める必要がある。



調査の概要

実施場所	実施期間	実施回数	人数
益田	平成30年8月～平成31年2月	4回	11名
久留米	平成30年11月～平成31年2月	2回	30名
松江	平成30年12月～平成30年12月	2回	5名
福山	平成30年11月～平成30年12月	2回	11名
鳥取	平成31年1月～平成31年1月	2回	26名

調査対象者の概要

実施場所	性別		学年	
	男	女	1	2
益田	4名	7名	4名	7名
久留米	18名	12名	16名	14名
松江	3名	2名	1名	4名
福山	6名	5名	5名	6名
鳥取	15名	11名	10名	16名
合計	46名	37名	36名	47名

アンケート調査では、調査対象者の負担も考慮して、以下の19の質問項目を用意した。それぞれ「あてはまる」「どちらかと言えばあてはまる」「どちらでもない」「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」の5段階で回答してもらった。

- (1)自分なりの個性を大切にしている
- (2)自分の夢をかなえようと意欲に燃えている
- (3)自分のはのびのびと生きていると感じる
- (4)自分はひとりぼっちだと感じる
- (5)みんなと意見が違って、自分の意見を言うことができる
- (6)無理に人に合わせようとして、きゅうくつな思いをしている
- (7)思いやりをもって他者とかわることは大事だと思う
- (8)自分のやるべきことは責任をもってやり遂げる
- (9)過去の失敗をくよくよ後悔しない
- (10)難しいことでも、やる気を出せば、できると思う
- (11)友達とけんかをしても、うまく仲直りができると思う
- (12)時間を無駄にしたくない
- (13)保護者からの自分への期待が高いと感じる
- (14)休みがたくさんもらえることは大事だと思う
- (15)自分ができる仕事は世の中にたくさんあると思う
- (16)自分の未来は明るいと思う
- (17)お金をかせぐことは大事だと思う
- (18)何でも最後は自分で決めたいと思う
- (19)今日取り組んだ学習は、自分の将来に役立つと思う

分析の結果

(1) 各質問項目の回答結果 (集計) ※上が実数 (名)、下が各質問項目の回答総数に占める割合 (%)

全回答の結果	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらでもない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
(1)自分なりの個性を大切にしている	15 18.1	30 36.1	26 31.3	11 13.3	1 1.2
(2)自分の夢をかなえようと意欲に燃えている	13 15.7	13 15.7	24 28.9	25 30.1	8 9.6
(3)自分のはびのびと生きていると感じる	19 22.9	28 33.7	23 27.7	9 10.8	4 4.8
(4)自分はひとりぼっちだと感じる	6 7.2	17 20.5	30 36.1	19 22.9	11 13.3
(5)みんなと意見が違って、自分の意見を言うことができる	14 16.9	16 19.3	24 28.9	17 20.5	12 14.5
(6)無理に人に合わせようとして、きゅうくつな思いをしている	6 7.2	17 20.5	24 28.9	18 21.7	18 21.7
(7)思いやりをもって他者とかわることは大事だと思う	34 41.0	31 37.3	15 18.1	0 0.0	3 3.6
(8)自分のやるべきことは責任をもってやり遂げる	19 22.9	34 41.0	24 28.9	6 7.2	0 0.0
(9)過去の失敗をくよくよ後悔しない	11 13.3	13 15.7	19 22.9	28 33.7	12 14.5
(10)難しいことでも、やる気を出せば、できると思う	12 14.5	27 32.5	27 32.5	13 15.7	4 4.8
(11)友達とけんかをして、うまく仲直りができると思う	12 14.5	26 31.3	26 31.3	18 21.7	1 1.2
(12)時間を無駄にしたくない	22 26.5	24 28.9	28 33.7	7 8.4	2 2.4
(13)保護者からの自分への期待が高いと感じる	6 7.2	14 16.9	32 38.6	18 21.7	13 15.7
(14)休みがたくさんもらえることは大事だと思う	25 30.1	14 16.9	37 44.6	5 6.0	2 2.4
(15)自分ができる仕事は世の中にたくさんあると思う	12 14.5	16 19.3	28 33.7	23 27.7	4 4.8
(16)自分の未来は明るいと思う	10 12.0	13 15.7	35 42.2	14 16.9	11 13.3
(17)お金をかせぐことは大事だと思う	47 56.6	31 37.3	5 6.0	0 0.0	0 0.0
(18)何でも最後は自分で決めたいと思う	35 42.2	25 30.1	15 18.1	8 9.6	0 0.0
(19)今日取り組んだ学習は、自分の将来に役立つと思う	12 14.5	25 30.1	38 45.8	4 4.8	4 4.8

上の表は、有効回答者 (83 名) による全回答 (第 1 回～第 4 回) を集計したものである。この結果から、本プロジェクトに関わる子どもたちの内面の特徴を、質問項目ごとに考察したいと思う。

(1)自分なりの個性を大切にしている

「どちらでもない」の回答が約 3 分の 1 を占めているが、自分の個性に対する評価については、ポジティブな回答の割合が比較的高い。しかし後述するように、質問 5)「みんなと意見が違って、自分の意見を言うことができる」という、他者との間に摩擦が起こるほどの個性の表出については、後ろ向きの姿勢が伺える。

(2)自分の夢をかなえようと意欲に燃えている

自分の夢をかなえることに対する意欲については、「どちらかといえばあてはまらない」というネガティブ

な回答が最も多く、約3分の1を占めている。質問(2)と質問(16)「自分の未来は明るいと思う」との間には一定の相関関係(相関係数 0.56)があり、自分の「未来」をどれだけリアリティをもって想像することができるかということと、それに向かって努力することに意欲を持てることとの間には一定の関係があることが伺える。

(3)自分はのびのびと生きていると感じる

今自分が生きているありように対して、ポジティブに充実感や満足感を覚えている割合は、比較的高い。「今」という日々には、ある程度満足感を得ているようである。しかし、「今」という時間の延長に必ずしも存在しない「未来」(「今」を変えないと到達できない「未来」の方が多いと思われる)に向き合うとき、この充実感や満足感が維持されるかどうかは別の話である。事実、質問(16)「自分の未来は明るいと思う」については、ネガティブな回答(不安な気持ち)の割合が比較的高い。

(4)自分はひとりぼっちだと感じる

「どちらでもない」が最も多く、約3分の1を占めている。他者と友好的人間関係を築くことについては、質問(7)「思いやりをもって他者とかわることは大事だと思う」で約8割が「あてはまる」または「どちらかといえばあてはまる」と回答するように、他者と友好的人間関係を築くことの必要性、重要性は認識しているようだが、現実にもそうした関係を築くことができているかといえば必ずしもそうではない現状が伺える。また、この回答は、友人関係だけでなく家族関係の中で捉えるべき可能性もある。後述するように、質問(13)「保護者からの自分への期待が高いと感じる」では、ネガティブな回答の割合が比較的多い。この結果も加味すれば、必ずしも良好な家族関係を築くことができていることを、この回答結果は示唆しているのかもしれない。

(5)みんなと意見が違っても、自分の意見を言うことができる

ポジティブな回答とネガティブな回答が、およそ同程度の割合を占めている。ただし、質問(1)「自分なりの個性を大切にしている」の回答結果と比較すると、そこでは、自らの個性に対してポジティブに評価する回答が比較的多かったのだが、今回の質問(5)にあつては、他者との間で摩擦が起こるほどの個性の表出を意味することから、そうした個性の発揮の在り方については、やや後ろ向きの姿勢が伺える。

(6)無理に人に合わせようとして、きゅうくつな思いをしている

質問(7)で、他者と友好的人間関係を築くことの必要性、重要性を認識している中において、その人間関係にきゅうくつな思いをしているとする回答は、「あてはまらない」または「どちらかといえばあてはまらない」と回答する割合に比べて少ない。しかし、「どちらかといえばあてはまる」との回答も約5分の1存在しており、他者との人間関係の構築に難しさを感じる子どもが一定存在していることが伺える。

(7)思いやりをもって他者とかわることは大事だと思う

質問(7)「思いやりをもって他者とかわることは大事だと思う」には、約8割が「あてはまる」または「どちらかといえばあてはまる」と回答しており、他者と友好的人間関係を築くことの必要性、重要性を認識する割合は非常に高い。しかし、そうした関係を実際に築くことができるかどうか、できているかどうかは、また別の問題である。

(8)自分のやるべきことは責任をもってやり遂げる

質問(8)「自分のやるべきことは責任をもってやり遂げる」には、約3分の2が「あてはまる」または「どちらかといえばあてはまる」と回答しており、責任感をもって自律的に行動することの必要性、重要性を認識する割合は高い。ただし、「どちらでもない」や「どちらかといえばあてはまらない」と回答する子どもも一定数存在し、自らの「未来」に対して責任を負うことがいまだできていない子どもの存在が伺える。

(9)過去の失敗をくよくよ後悔しない

質問(9)「過去の失敗をくよくよ後悔しない」には、約半数が「あてはまらない」または「どちらかといえばあてはまらない」と回答しており、失敗することに臆病になっている子どもが多くいることが伺える。他の質問項目との関係で見れば、(5)「みんなと意見が違っても、自分の意見を言うことができる」との間で相関関係が高く、また質問(11)「友達とけんかをして、うまく仲直りができると思う」との間でも相関関係が高い。そのことから、ここでいう「失敗」は、人間関係の構築も含め、あらゆるアプローチについて当てはまるものであり、そしてそれらは連続的なもの(勉強の失敗も友人関係の失敗も、それを受容し、乗り越えることができるかどうかは、質的に同じ)であることがわかる。

(10)難しいことでも、やる気を出せば、できると思う

質問(10)「難しいことでも、やる気を出せば、できると思う」には、約半数が「あてはまる」または「どちらかといえばあてはまる」と回答しており、「やればできる」というメリトクラシーの考えをもつ割合、「がんばる」ことに対して一定の価値を認める割合が比較的高い。また、質問(8)「自分のやるべきことは責任をもってやり遂げる」との間で相関関係が高いことから、「がんばる」という意思と、責任感をもって実行する意思の間には一定の関係があることが伺える。

(11)友達とけんかをして、うまく仲直りができると思う

質問(11)「友達とけんかをして、うまく仲直りができると思う」には、半数弱が「あてはまる」または「どちらかといえばあてはまる」と回答しており、他者と友好的人間関係を築く中で、「けんか」という日常的で実際的な摩擦が起きた際には、それを乗り越えるだけ積極的な姿勢をもつことができている。しかし、そうした姿勢をもつことができていない子どもも一定数存在しており、その点には注意を要する。

(12)時間を無駄にしたくない

質問(12)「時間を無駄にしたくない」には、半数以上が「あてはまる」または「どちらかといえばあてはまる」と回答しており、時間を大切にしたいという姿勢が伺える。ただし、ここで回答者が「時間」をどのように捉えているか、という議論の余地も残る。「未来」の自己実現に向かう企图的な「時間」か、それともただ「今」を充実しながら生きるための「時間」か。「時間」に対する向き合い方は、その後の進路決定に大きく影響を及ぼす可能性がある。

(13)保護者からの自分への期待が高いと感じる

質問(13)「保護者からの自分への期待が高いと感じる」では、「あてはまる」または「どちらかといえばあてはまる」というポジティブな回答よりも、「あてはまらない」または「どちらかといえばあてはまらない」というネガティブな回答の方が比較的多い。なお最も多い回答は「どちらでもない」である。未来に向けてあるべき「自己」を確立していく中で、最も身近であるはずの保護者から期待を受けていると感じているかどうかは、重要な問題であろう。自己の中で家族関係をどのように捉え、それとの関わりの中で、またはそれと切り

離して、将来のありたい「自己」を構築していくか、その内面の変化も捉えたいところである。

(14) 休みがたくさんもらえることは大事だと思う

質問(14)「休みがたくさんもらえることは大事だと思う」には、約半数が「あてはまる」または「どちらかといえばあてはまる」と回答しており、自らにゆとりを持たせ、心をクールダウンさせることの必要性、重要性を感じている割合は比較的多い。

(15) 自分ができる仕事は世の中にたくさんあると思う

質問(15)「自分ができる仕事は世の中にたくさんあると思う」では、約6割が「どちらともいえない」または「どちらかといえばあてはまらない」と回答しており、ポジティブな回答よりもネガティブな回答の割合が比較的多い。この結果は、社会の中にある様々な仕事と、今の自分との間にギャップを感じている表れであろう。それはさらには、自分が社会に出たときの姿をリアリティをもって想像することに困難があるのか、そもそも社会の中にある仕事をリアリティをもって考えることができているか、という問題が潜んでいるだろう。

(16) 自分の未来は明るいと思う

質問(16)「自分の未来は明るいと思う」では、6割強が「どちらともいえない」または「どちらかといえばあてはまらない」と回答しており、ポジティブな回答よりもネガティブな回答の割合が比較的多い。質問(15)と同様、「今」の自分から「未来」のありたい自分を投影するとき、その間にギャップが存在するのは誰しも必然のことである。重要なことは、そのギャップを努力の糧として前に進むことができるかどうかである。そこで、自分の未来に対して少なからずポジティブな姿勢をとることができるかどうかは、その可否を分ける要因の一つであろう。

(17) お金をかせぐことは大事だと思う

質問(17)「お金をかせぐことは大事だと思う」では、94%が「あてはまる」または「どちらかといえばあてはまる」と回答しており、また「あてはまらない」または「どちらかといえばあてはまらない」というネガティブな回答がないことから、お金をかせぐことの必要性、重要性についてはほぼ全員がそう感じている。ただし重要なことは、質問(15)「自分ができる仕事は世の中にたくさんあると思う」で見たように、お金をかせぐための仕事について、リアリティをもって想像することができるかどうかである。

(18) 何でも最後は自分で決めたいと思う

質問(18)「何でも最後は自分で決めたいと思う」では、7割以上が「あてはまる」または「どちらかといえばあてはまる」と回答しており、「決める」ということについて受け身である回答はほとんどない。何事においても、自分で決めることに重要性を感じているようである。問題は、その決めた結果（良い結果、悪い結果）を全て引き受ける覚悟があるかどうかである。

(19) 今日取り組んだ学習は、自分の将来に役立つと思う

質問(19)「今日取り組んだ学習は、自分の将来に役立つと思う」では、「あてはまる」または「どちらかといえばあてはまる」と回答しており、今回取り組んでもらった学習にその効果が一定認められよう。ただし、同じく約半数が「どちらでもない」と回答しており、その割合が最も多い。ネガティブな回答も少ないながら存在することから、今後も改善の必要性に開かれていることが認められる。

(参考) 質問項目間の相関係数 ※塗りつぶしている欄は0.3以上または-0.3以下

	①自分の価値	②意欲	③のびのび	④ひとりぼっち	⑤自分の意見	⑥きょうくつ	⑦他者との関わり	⑧責任	⑨失敗	⑩やればできる	⑪仲直り	⑫時間	⑬自分への期待	⑭休み	⑮仕事	⑯自分の未来	⑰お金	⑱自分で決める	⑲今日の学習
①自分の価値		0.545	0.389	-0.1477	0.4094	-0.2331	0.285	0.2643	0.1992	0.2816	0.3187	0.1772	0.0845	0.1531	0.4498	0.468	0.2557	0.3554	0.1159
②意欲	0.545		0.3289	-0.0966	0.3695	-0.2035	0.2266	0.3529	0.3048	0.3833	0.2763	0.223	0.2159	0.1339	0.3589	0.5556	0.2395	0.4301	0.1472
③のびのび	0.389	0.3289		-0.1545	0.3401	-0.2277	0.3012	0.2036	0.1759	0.1783	0.2209	0.1168	0.1787	0.1796	0.2204	0.4261	0.2066	0.1684	0.2598
④ひとりぼっち	-0.1477	-0.0966	-0.1545		-0.3097	0.3977	-0.2651	-0.179	-0.2213	-0.1908	-0.2815	-0.1306	-0.024	-0.1572	-0.3225	-0.3575	-0.1707	-0.1061	-0.043
⑤自分の意見	0.4094	0.3695	0.3401	-0.3097		-0.4266	0.1356	0.2352	0.4047	0.2366	0.2932	0.0685	0.0637	-0.0722	0.4873	0.323	0.2028	0.2869	-0.0505
⑥きょうくつ	-0.2331	-0.2035	-0.2277	0.3977	-0.4266		-0.1475	0.0297	-0.2986	-0.1249	-0.2686	-0.0092	0.1107	-0.0456	-0.1589	-0.212	-0.1756	-0.1995	-0.0172
⑦他者との関わり	0.285	0.2266	0.3012	-0.2651	0.1356	-0.1475		0.3709	0.0978	0.2992	0.2506	0.2502	0.0911	0.3223	0.1948	0.2532	0.458	0.1204	0.3701
⑧責任	0.2643	0.3529	0.2036	-0.179	0.2352	0.0297	0.3709		0.1377	0.4486	0.3331	0.3201	0.1242	0.2465	0.3445	0.3107	0.2614	0.3285	0.208
⑨失敗	0.1992	0.3048	0.1759	-0.2213	0.4047	-0.2986	0.0978	0.1377		0.255	0.4041	0.0926	0.0523	-0.0047	0.3139	0.3534	0.1226	0.2031	-0.036
⑩やればできる	0.2816	0.3833	0.1783	-0.1908	0.2366	-0.1249	0.2992	0.4486	0.255		0.4043	0.2381	0.0535	0.1142	0.2988	0.3703	0.3014	0.2831	0.143
⑪仲直り	0.3187	0.2763	0.2209	-0.2815	0.2932	-0.2686	0.2506	0.3331	0.4041	0.4043		0.2474	0.0575	0.0691	0.414	0.3097	0.2708	0.2488	0.1078
⑫時間	0.1772	0.223	0.1168	-0.1306	0.0685	-0.0092	0.2502	0.3201	0.0926	0.2381	0.2474		0.1541	0.1908	0.2365	0.1365	0.2851	0.2135	0.1019
⑬自分への期待	0.0845	0.2159	0.1787	-0.024	0.0637	0.1107	0.0911	0.1242	0.0523	0.0535	0.0575	0.1541		0.0495	0.2022	0.3985	-0.0162	-0.1225	0.0835
⑭休み	0.1531	0.1339	0.1796	-0.1572	-0.0722	-0.0456	0.3223	0.2465	-0.0047	0.1142	0.0691	0.1908	0.0495		0.1513	0.1968	0.2603	0.3366	0.2392
⑮仕事	0.4498	0.3589	0.2204	-0.3225	0.4873	-0.1589	0.1948	0.3445	0.3139	0.2988	0.414	0.2365	0.2022	0.1513		0.5149	0.233	0.2546	0.0482
⑯自分の未来	0.468	0.5556	0.4261	-0.3575	0.323	-0.212	0.2532	0.3107	0.3534	0.3703	0.3097	0.1365	0.3985	0.1968	0.5149		0.2044	0.2877	0.1673
⑰お金	0.2557	0.2395	0.2066	-0.1707	0.2028	-0.1756	0.458	0.2614	0.1226	0.3014	0.2708	0.2851	-0.0162	0.2603	0.233	0.2044		0.3794	0.291
⑱自分で決める	0.3554	0.4301	0.1684	-0.1061	0.2869	-0.1995	0.1204	0.3285	0.2031	0.2831	0.2488	0.2135	-0.1225	0.3366	0.2546	0.2877	0.3794		0.1051
⑲今日の学習	0.1159	0.1472	0.2598	-0.043	-0.0505	-0.0172	0.3701	0.208	-0.036	0.143	0.1078	0.1019	0.0835	0.2392	0.0482	0.1673	0.291	0.1051	

(2) 結果の分析 回数を経ることによる変化 (益田市の事例のみ)

		あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらでもない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
(1)自分なりの個性を大切にしている	初回	2 18.2	3 27.3	3 27.3	2 18.2	1 9.1
	2回目	3 27.3	0 0.0	6 54.5	2 18.2	0 0.0
	3回目	4 36.4	2 18.2	3 27.3	1 9.1	1 9.1
	4回目	4 36.4	2 18.2	4 36.4	1 9.1	0 0.0
(2)自分の夢をかなえようと意欲に燃えている	初回	2 18.2	1 9.1	3 27.3	3 27.3	2 18.2
	2回目	1 9.1	3 27.3	5 45.5	1 9.1	1 9.1
	3回目	3 27.3	1 9.1	5 45.5	1 9.1	1 9.1
	4回目	2 18.2	2 18.2	5 45.5	2 18.2	0 0.0
(3)自分はこのびのびと生きていると感じる	初回	4 36.4	2 18.2	5 45.5	0 0.0	0 0.0
	2回目	3 27.3	3 27.3	4 36.4	1 9.1	0 0.0
	3回目	2 18.2	4 36.4	4 36.4	0 0.0	1 9.1
	4回目	2 18.2	5 45.5	3 27.3	1 9.1	0 0.0
(4)自分はひとりぼっちだと感じる	初回	1 9.1	1 9.1	4 36.4	4 36.4	1 9.1
	2回目	0 0.0	1 9.1	6 54.5	2 18.2	2 18.2
	3回目	0 0.0	2 18.2	5 45.5	2 18.2	2 18.2
	4回目	0 0.0	0 0.0	6 54.5	2 18.2	3 27.3
(5)みんなと意見が違ってても、自分の意見を言うことができる	初回	3 27.3	2 18.2	1 9.1	4 36.4	1 9.1
	2回目	2 18.2	1 9.1	2 18.2	5 45.5	1 9.1
	3回目	1 9.1	1 9.1	6 54.5	3 27.3	0 0.0
	4回目	1 9.1	2 18.2	4 36.4	3 27.3	1 9.1
(6)無理に人に合わせようとして、きゅうくつな思いをしている	初回	0 0.0	1 9.1	5 45.5	4 36.4	1 9.1
	2回目	1 9.1	2 18.2	4 36.4	3 27.3	1 9.1
	3回目	0 0.0	1 9.1	6 54.5	3 27.3	1 9.1
	4回目	1 9.1	1 9.1	6 54.5	1 9.1	2 18.2

		9.1	9.1	54.5	9.1	18.2
(7)思いやりをも って他者とかか わることは大事 だと思う	初回	5 45.5	3 27.3	2 18.2	0 0.0	1 9.1
	2回目	5 45.5	5 45.5	1 9.1	0 0.0	0 0.0
	3回目	6 54.5	4 36.4	1 9.1	0 0.0	0 0.0
	4回目	5 45.5	4 36.4	2 18.2	0 0.0	0 0.0
(8)自分のやるべ きことは責任を もってやり遂げ る	初回	3 27.3	6 54.5	2 18.2	0 0.0	0 0.0
	2回目	3 27.3	7 63.6	1 9.1	0 0.0	0 0.0
	3回目	4 36.4	5 45.5	2 18.2	0 0.0	0 0.0
	4回目	2 18.2	5 45.5	4 36.4	0 0.0	0 0.0
(9)過去の失敗を くよくよ後悔し ない	初回	2 18.2	0 0.0	1 9.1	6 54.5	2 18.2
	2回目	2 18.2	0 0.0	4 36.4	1 9.1	4 36.4
	3回目	2 18.2	1 9.1	4 36.4	3 27.3	1 9.1
	4回目	1 9.1	4 36.4	4 36.4	1 9.1	1 9.1
(10)難しいことでも、やる気を出せば、できると 思う	初回	2 18.2	2 18.2	5 45.5	2 18.2	0 0.0
	2回目	2 18.2	4 36.4	3 27.3	2 18.2	0 0.0
	3回目	4 36.4	3 27.3	3 27.3	1 9.1	0 0.0
	4回目	4 36.4	2 18.2	4 36.4	1 9.1	0 0.0
(11)友達とけんか をしても、うまく 仲直りができ ると思う	初回	1 9.1	3 27.3	3 27.3	3 27.3	1 9.1
	2回目	1 9.1	3 27.3	6 54.5	1 9.1	0 0.0
	3回目	1 9.1	4 36.4	6 54.5	0 0.0	0 0.0
	4回目	1 9.1	2 18.2	8 72.7	0 0.0	0 0.0
(12)時間を無駄に したくない	初回	3 27.3	2 18.2	5 45.5	1 9.1	0 0.0
	2回目	3 27.3	4 36.4	4 36.4	0 0.0	0 0.0
	3回目	4 36.4	5 45.5	2 18.2	0 0.0	0 0.0
	4回目	4 36.4	2 18.2	5 45.5	0 0.0	0 0.0
(13)保護者からの	初回	0	1	6	3	1

自分への期待が 高いと感じる		0.0	9.1	54.5	27.3	9.1
	2回目	0 0.0	2 18.2	5 45.5	3 27.3	1 9.1
	3回目	1 9.1	0 0.0	8 72.7	1 9.1	1 9.1
	4回目	0 0.0	2 18.2	6 54.5	2 18.2	1 9.1
(14)休みがたくさんもらえることは大事だと思う	初回	6 54.5	1 9.1	4 36.4	0 0.0	0 0.0
	2回目	6 54.5	3 27.3	2 18.2	0 0.0	0 0.0
	3回目	5 45.5	4 36.4	2 18.2	0 0.0	0 0.0
	4回目	4 36.4	3 27.3	4 36.4	0 0.0	0 0.0
(15)自分ができる仕事は世の中にたくさんあると思う	初回	1 9.1	0 0.0	6 54.5	4 36.4	0 0.0
	2回目	1 9.1	2 18.2	4 36.4	2 18.2	2 18.2
	3回目	1 9.1	2 18.2	5 45.5	2 18.2	1 9.1
	4回目	0 0.0	2 18.2	7 63.6	2 18.2	0 0.0
(16)自分の未来は明るいと思う	初回	0 0.0	1 9.1	8 72.7	1 9.1	1 9.1
	2回目	0 0.0	2 18.2	7 63.6	1 9.1	1 9.1
	3回目	1 9.1	2 18.2	6 54.5	2 18.2	0 0.0
	4回目	3 27.3	0 0.0	6 54.5	2 18.2	0 0.0
(17)お金をかせぐことは大事だと思う	初回	5 45.5	5 45.5	1 9.1	0 0.0	0 0.0
	2回目	5 45.5	5 45.5	1 9.1	0 0.0	0 0.0
	3回目	4 36.4	6 54.5	1 9.1	0 0.0	0 0.0
	4回目	4 36.4	4 36.4	3 27.3	0 0.0	0 0.0
(18)何でも最後は自分で決めたいと思う	初回	6 54.5	2 18.2	3 27.3	0 0.0	0 0.0
	2回目	3 27.3	3 27.3	5 45.5	0 0.0	0 0.0
	3回目	4 36.4	4 36.4	3 27.3	0 0.0	0 0.0
	4回目	6 54.5	1 9.1	4 36.4	0 0.0	0 0.0
(19)今日取り組んだ学習は、自分の将来に役立つ	初回	0 0.0	3 27.3	7 63.6	0 0.0	1 9.1
	2回目	3	5	2	1	0

と思う		27.3	45.5	18.2	9.1	0.0
	3回目	2	6	1	0	2
		18.2	54.5	9.1	0.0	18.2
	4回目	1	5	4	0	1
		9.1	45.5	36.4	0.0	9.1

益田での取り組み以外は、2回のみの実施であることから、益田での取り組みのみを取り上げ、経時的変化を考察する。顕著な変化が認められる箇所のみ、言及する。ただし、データ数は11しかないため、この考察には一定の制限があることは否定できない。

顕著にその変化が認められるのは、質問(1)「自分なりの個性を大切にしている」、質問(4)「自分はひとりぼっちだと感じる」、質問(9)「過去の失敗をくよくよ後悔しない」、質問(11)「友達とけんかをして、うまく仲直りができると思う」、質問(15)「自分ができる仕事は世の中にたくさんあると思う」である。

質問(1)「自分なりの個性を大切にしている」では、初回では、ポジティブな回答とネガティブな回答がほぼ同数存在していたが、3回目以降は、ポジティブな回答の割合が比較的多くなるようになった。

質問(15)「自分ができる仕事は世の中にたくさんあると思う」では、ポジティブな回答の割合がやや増えており、質問(16)「自分の未来は明るいと思う」では、「あてはまる」の回答が、初回では0件であったものが、4回目では3件にまで増えている（たった3件だが、大きな変化と思われる）。

質問(4)「自分はひとりぼっちだと感じる」では、「あてはまる」または「どちらかといえばあてはまる」とする回答が初回ではそれぞれ1件あったが、3回目以降ではそれが0件になっている。人間関係を自己の中で受容する様子に変化していったものと推察される。質問(11)「友達とけんかをして、うまく仲直りができると思う」においても、「あてはまらない」または「どちらかといえばあてはまらない」とする回答が初回ではそれぞれ3件、1件あったが、3回目以降はそれが0件になっている。

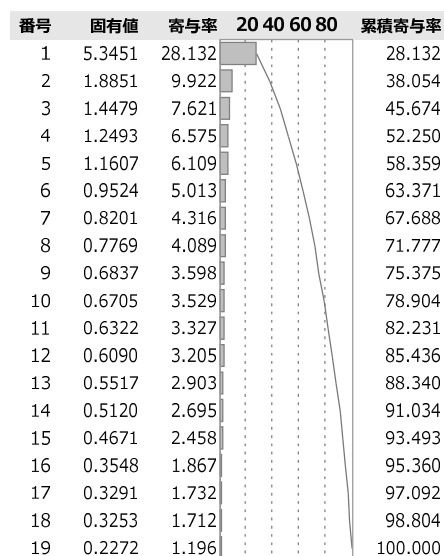
ただし、授業を繰り返しても、例えば質問(13)「保護者からの自分への期待が高いと感じる」などのように、ほとんど変化が見られないものもある。このキャリア教育の指導において、効果が認められるものとそうでないものを見極める必要があり、また現時点において効果が認められないものは、その点を改善するよう模索が求められる。

(3) 因子分析の結果

質問(1)から(19)について、因子分析を行った（最尤法、バリマックス回転）。その結果、各因子の固有値は右図のようになり、累積寄与率から5つの因子を取り出した。

なお、「共通因子が1つもない」を帰無仮説とする有意性検定を行った結果、下表のとおり1%水準で棄却され、共通因子の存在が示唆された。また、「5因子で十分である」を帰無仮説とする有意性検定を行った結果、下表のとおり1%水準で棄却され、5因子で十分ではないこと、5因子ですべてを説明することができるとは限らないことが示された。その限界を受け止めたうえで、今回は5因子で分析を進めたいと思う。

検定	自由度	カイ2乗	p値(Prob>ChiSq)
H0: 共通因子が1つもない。	171.000	1071.867	<.0001*
HA: 少なくとも1つの共通因子がある。			



検定	自由度	カイ2乗	p値(Prob>ChiSq)
H0: 5因子で十分である。	86.000	132.269	0.0010*
HA: もっと多くの因子が必要である。			

① 因子の特徴と命名

因子1は、質問(8)「自分のやるべきことは責任をもってやり遂げる」(0.570158)、質問(15)「自分ができる仕事は世の中にたくさんあると思う」(0.519836)、質問(10)「難しいことでも、やる気を出せば、できると思う」(0.455799)、質問(11)「友達とけんかをして、うまく仲直りができると思う」(0.455624)、質問(5)「みんなと意見が違って、自分の意見を言うことができる」(0.450941)、質問(2)「自分の夢をかなえようと意欲に燃えている」(0.412162)、質問(1)「自分なりの個性を大切にしている」(0.402073)、質問(12)「時間を無駄にしたくない」(0.382424)という因子負荷量の結果から「**自己実現志向**」と命名する。たとえ問題が生じたとしても、自分なりにそれを受け止め、前進していこうとする意思を表している。

因子2は、質問(15)「自分ができる仕事は世の中にたくさんあると思う」(-0.315034)、質問(11)「友達とけんかをして、うまく仲直りができると思う」(-0.335696)、質問(5)「みんなと意見が違って、自分の意見を言うことができる」(-0.592296)、質問(1)「自分なりの個性を大切にしている」(-0.323639)、質問(9)「過去の失敗をくよくよ後悔しない」(-0.425893)、(6)質問「無理に人に合わせようとして、きゅうくつな思いをしている」(0.773967)、質問(4)「自分はひとりぼっちだと感じる」(0.490151)、(16)質問「自分の未来は明るいと思う」(-0.353876)、(3)質問「自分のはのびのびと生きていると感じる」(-0.317505)という因子負荷量の結果から「**社会的消極志向**」と命名する。他者との関わりの中で、また将来の在りたい自己との関わりの中で、積極性を出しづらい後ろ向きの心の状態を表している。

因子3は、質問(8)「自分のやるべきことは責任をもってやり遂げる」(0.315534)、質問(7)「思いやりをもって他者とかかわることは大事だと思う」(0.705492)、質問(19)「今日取り組んだ学習は、自分の将来に役立つと思う」(0.509473)、質問(17)「お金をかせぐことは大事だと思う」(0.495963)、質問(14)「休みがたくさんもらえることは大事だと思う」(0.480235)という因子負荷量の結果から「**現実性志向**」と命名する。それが有益かどうか、必要かどうか、大事かどうか、それを実行すべきかどうかを、現実的に思考することができるリアリストの姿勢を表している(「自己実現志向」の人よりも冷静な視点を持っているかもしれない)。

因子4は、質問(15)「自分ができる仕事は世の中にたくさんあると思う」(0.332896)、質問(2)「自分の夢をかなえようと意欲に燃えている」(0.356408)、質問(16)「自分の未来は明るいと思う」(0.876958)、質問(13)「保護者からの自分への期待が高いと感じる」(0.482068)という因子負荷量の結果から「**将来希望志向**」と命名する。

因子5は、質問(18)「何でも最後は自分で決めたいと思う」(0.924195)という因子負荷量の結果から「**自己決定志向**」と命名する。

問題は、これらの心的傾向が、どのように環境のもとで形成され、維持されるかということである。もちろん、子ども一人ひとりがどのような環境下で生き、それがためにどのように心的傾向が形成されていったか、その全貌を明らかにすることは難しいが、以下の分析では、その一部でも明らかにしたいと思い、家族構成やバイト経験等から、その関係性を考察したいと思う。

回転後の因子負荷量

	因子1	因子2	因子3	因子4	因子5
(8)自分のやるべきことは責任をもってやり遂げる	0.570158	0.017545	0.315534	0.155101	0.122075
(15)自分ができる仕事は世の中にたくさんあると思う	0.519836	-0.315034	0.011064	0.332896	0.073448
(10)難しいことでも、やる気を出せば、できると思う	0.455799	-0.157515	0.229281	0.197278	0.100854
(11)友達とけんかをして、うまく仲直りができると思う	0.455624	-0.335696	0.137789	0.086784	0.046189
(5)みんなと意見が違っても、自分の意見を言うことができる	0.450941	-0.592296	-0.140876	0.038648	0.098178
(2)自分の夢をかなえようと意欲に燃えている	0.412162	-0.246876	0.113598	0.356408	0.290992
(1)自分なりの個性を大切にしている	0.402073	-0.323639	0.139527	0.247639	0.189800
(12)時間を無駄にしたくない	0.382424	0.023728	0.263054	0.022222	0.061839
(9)過去の失敗をくよくよ後悔しない	0.284990	-0.425893	-0.089247	0.168060	0.085619
(6)無理に人に合わせようとして、きゅうくつな思いをしている	0.049301	0.773967	-0.068753	0.094982	-0.088795
(4)自分はひとりぼっちだと感じる	-0.085188	0.490151	-0.188397	-0.161600	0.018213
(7)思いやりをもって他者とかわることは大事だと思う	0.264797	-0.183287	0.705492	0.057171	-0.116441
(19)今日取り組んだ学習は、自分の将来に役立つと思う	0.054960	0.014026	0.509473	0.088605	0.005991
(17)お金をかせぐことは大事だと思う	0.280548	-0.189820	0.495963	-0.040935	0.191975
(14)休みがたくさんもらえることは	0.048093	0.018530	0.480235	0.067613	0.263758
(16)自分の未来は明るいと思う	0.180641	-0.353876	0.163588	0.876958	0.215230
(13)保護者からの自分への期待が高いと感じる	0.129008	0.063342	0.034355	0.482068	-0.142872
(3)自分はこのびのびと生きていると感じる	0.182650	-0.317505	0.251708	0.263547	0.039068
(18)何でも最後は自分で決めたいと思う	0.299640	-0.148550	0.176532	-0.053372	0.924195

② 各因子を規定する要因の分析

因子分析を通して、「自己実現志向」「社会的消極志向」「現実性志向」「将来希望志向」「自己決定志向」の5つの因子の存在を明らかにした。問題は、これら心的傾向がどのような環境下で形成されるかということである。そこで、各因子得点を被説明変数とし、家族構成（祖父、祖母、父、母、兄、姉、弟、妹の有無）、バイト経験（バイト経験の有無、バイトの勤務期間、バイトの勤務頻度）、性別を説明変数として重回帰分析を行う。

【因子1「自己実現志向」について】（R2乗 0.306334）

項	推定値	標準誤差	t 値	p 値(Prob> t)
切片	0.673645	0.560287	1.20	0.2329
性別[1-0]	0.3648529	0.230896	1.58	0.1181
祖父	0.1214835	0.251527	0.48	0.6305
祖母	-0.080754	0.232368	-0.35	0.7291
父	-1.054409	0.327162	-3.22	0.0019*
母	0.21521	0.35945	0.60	0.5511
兄	0.4859306	0.24332	2.00	0.0493*
姉	0.1060887	0.225307	0.47	0.6391
弟	0.344365	0.210262	1.64	0.1055
妹	0.113833	0.231758	0.49	0.6247
バイト経験の有無	0	0	.	.
バイト勤務期間（カ月）	-0.01489	0.011888	-1.25	0.2141
バイト勤務頻度（日／週）	-0.162892	0.07898	-2.06	0.0425*
世帯年収[2-1]	0.9630719	0.416277	2.31	0.0233*
世帯年収[3-2]	-0.275314	0.306042	-0.90	0.3711
世帯年収[4-3]	-0.093538	0.325956	-0.29	0.7749
世帯年収[5-4]	-0.772593	0.397	-1.95	0.0552

【因子2「社会的消極志向」について】（R2乗 0.272152）

項	推定値	標準誤差	t 値	p 値(Prob> t)
切片	-0.677195	0.487625	-1.39	0.1689
性別[1-0]	-0.475112	0.200952	-2.36	0.0206*
祖父	0.0478595	0.218907	0.22	0.8275
祖母	-0.057499	0.202233	-0.28	0.7769
父	0.4729898	0.284734	1.66	0.1007
母	0.0195783	0.312833	0.06	0.9503

項	推定値	標準誤差	t 値	p 値(Prob> t)
兄	0.2115326	0.211765	1.00	0.3209
姉	0.2403592	0.196088	1.23	0.2240
弟	0.0210837	0.182993	0.12	0.9086
妹	-0.111348	0.201702	-0.55	0.5825
バイト経験の有無	0	0	.	.
バイト勤務期間 (カ月)	0.0180676	0.010346	1.75	0.0847
バイト勤務頻度 (日/週)	0.0157161	0.068737	0.23	0.8197
世帯年収[2-1]	-0.570843	0.362291	-1.58	0.1192
世帯年収[3-2]	0.6127616	0.266352	2.30	0.0241*
世帯年収[4-3]	0.0071236	0.283684	0.03	0.9800
世帯年収[5-4]	0.3013141	0.345514	0.87	0.3858

【因子3「現実性志向」について】 (R2 乗 0.214818)

項	推定値	標準誤差	t 値	p 値(Prob> t)
切片	0.8256776	0.559992	1.47	0.1444
性別[1-0]	0.2453234	0.230775	1.06	0.2910
祖父	-0.280081	0.251395	-1.11	0.2687
祖母	0.3401516	0.232246	1.46	0.1470
父	-0.282408	0.32699	-0.86	0.3904
母	0.0152177	0.35926	0.04	0.9663
兄	0.0810274	0.243192	0.33	0.7399
姉	0.1326795	0.225189	0.59	0.5574
弟	-0.251967	0.210151	-1.20	0.2342
妹	0.0930126	0.231636	0.40	0.6891
バイト経験の有無	0	0	.	.
バイト勤務期間 (カ月)	0.0046917	0.011882	0.39	0.6940
バイト勤務頻度 (日/週)	-0.277323	0.078938	-3.51	0.0007*
世帯年収[2-1]	0.2889949	0.416058	0.69	0.4894
世帯年収[3-2]	-0.361992	0.305881	-1.18	0.2402
世帯年収[4-3]	0.2791238	0.325785	0.86	0.3942
世帯年収[5-4]	-0.094379	0.396791	-0.24	0.8126

【因子4「将来希望志向」について】 (R2 乗 0.365991)

項	推定値	標準誤差	t 値	p 値(Prob> t)
---	-----	------	-----	---------------

項	推定値	標準誤差	t 値	p 値(Prob> t)
切片	0.0694209	0.593948	0.12	0.9073
性別[1-0]	0.1943864	0.244768	0.79	0.4295
祖父	-1.077022	0.266638	-4.04	0.0001*
祖母	0.5209727	0.246329	2.11	0.0376*
父	0.705177	0.346818	2.03	0.0454*
母	0.0665752	0.381044	0.17	0.8618
兄	0.2309419	0.257938	0.90	0.3734
姉	0.4437133	0.238843	1.86	0.0670
弟	-0.380274	0.222894	-1.71	0.0920
妹	-0.461152	0.245682	-1.88	0.0643
バイト経験の有無	0	0	.	.
バイト勤務期間 (カ月)	0.001937	0.012602	0.15	0.8782
バイト勤務頻度 (日/週)	-0.018876	0.083725	-0.23	0.8222
世帯年収[2-1]	-0.369697	0.441286	-0.84	0.4047
世帯年収[3-2]	-0.325104	0.324428	-1.00	0.3194
世帯年収[4-3]	-0.041395	0.345539	-0.12	0.9050
世帯年収[5-4]	0.1886267	0.420851	0.45	0.6552

【因子5「自己決定志向」について】 (R2 乗 0.326555)

項	推定値	標準誤差	t 値	p 値(Prob> t)
切片	1.5345043	0.483988	3.17	0.0022*
性別[1-0]	-0.118432	0.199453	-0.59	0.5544
祖父	0.3612155	0.217275	1.66	0.1004
祖母	-0.470573	0.200725	-2.34	0.0216*
父	-0.680582	0.28261	-2.41	0.0184*
母	0.0838239	0.3105	0.27	0.7879
兄	0.0822106	0.210185	0.39	0.6968
姉	-0.093609	0.194625	-0.48	0.6319
弟	-0.13791	0.181629	-0.76	0.4500
妹	0.0340534	0.200198	0.17	0.8654
バイト経験の有無	0	0	.	.
バイト勤務期間 (カ月)	-0.006245	0.010269	-0.61	0.5449
バイト勤務頻度 (日/週)	-0.194452	0.068225	-2.85	0.0056*
世帯年収[2-1]	0.1047319	0.359589	0.29	0.7716

項	推定値	標準誤差	t 値	p 値(Prob> t)
世帯年収[3-2]	0.3274451	0.264366	1.24	0.2192
世帯年収[4-3]	0.1577753	0.281568	0.56	0.5769
世帯年収[5-4]	-0.175257	0.342937	-0.51	0.6108

以上の分析結果から、因子1「自己実現志向」については、父親の存在（負の影響）、兄の存在、バイトの勤務頻度（負の影響）、世帯年収が関わっていることが示された。バイトの勤務頻度との関係については、頻繁にバイトに通うことと、自己実現志向が高いことは、必ずしも一致しないことが示された。何のためにバイトに勤むかということが重要なかもしれない。また世帯年収は、最も低い年収の1「250万円未満」と2「250～350万円未満」の間に有意な差が見られた（その他、3「350～590万円未満」、4「590～910万円未満」、5「910万円以上」で分けている）。

因子2「社会的消極志向」については、性別（女性）、そして世帯年収の2「250～350万円未満」と3「350～590万円未満」との間の差による影響が見られ、因子3「現実性志向」については、バイト勤務頻度（負の影響）が関わっていることが示された。

因子4「将来希望志向」については、祖父の存在（負の影響）、祖母の存在、父親の存在が関わっており、因子5「自己決定志向」については、祖母（負の影響）、父の存在（負の影響）、バイト勤務頻度（負の影響）が関わっていることが示された。

祖父や父の存在が、負の関わり方をしていることについては、今後さらに量的・質的な探究が必要となるだろうが、いずれにしても、以上の分析結果から、家族構成の影響、バイト経験の影響が一定認められよう。

（4）因子得点をもとに質問(19)「今日取り組んだ学習は、自分の将来に役立つと思う」への影響を分析

問題は、これらの心的志向が、その後の進路決定にどのような影響をもたらすかということである。ここではまだ進路決定の結果を変数として組み込むことができないことから、質問(19)「今日取り組んだ学習は、自分の将来に役立つと思う」との関係を考察したいと思う。

質問(19)「今日取り組んだ学習は、自分の将来に役立つと思う」を被説明変数、因子1～5を説明変数として重回帰分析を行った。その結果が下表である。

【質問(19)について】 (R2 乗 0.369682)

項	推定値	標準誤差	t 値	p 値(Prob> t)
切片	3.7340426	0.060805	61.41	<.0001*
因子1「自己実現志向」	-0.004957	0.074878	-0.07	0.9473
因子2「社会的消極志向」	0.0325033	0.070691	0.46	0.6462
因子3「現実性志向」	0.7381186	0.072787	10.14	<.0001*

項	推定値	標準誤差	t 値	p 値(Prob> t)
因子4「将来希望志向」	0.0769992	0.062211	1.24	0.2174
因子5「自己決定志向」	-0.011863	0.062244	-0.19	0.8491

この分析結果から、今回のキャリア教育の学習に対して、有用性や有益性を感じたかどうか、その背景には、因子3「現実性志向」が関わっていることが示された。質問(8)「自分のやるべきことは責任をもってやり遂げる」、質問(7)「思いやりをもって他者とかがかわることは大事だと思う」、質問(17)「お金をかせぐことは大事だと思う」、質問(14)「休みがたくさんもらえることは大事だと思う」といったことに対して肯定的姿勢をもつことと、学習に対して何らかの意義を感じ、前向きに学習しようとするものの間に、一定の関係の存在が示されたのである。

今後の指導にあっては、「他者との関わり」や「お金を稼ぐこと」、「休みをとること」といったリアリティをもったことも併せて提示しながら、学習の意義を感じさせていく必要があるように思われる。

3-2 事業全体を通じた成果および考察

益田通信制課程在籍生徒のみではあるが、1クールを終了し、対象生徒数は少ないながらも、本事業が生徒に一定の効果をもたらしたと考えている。通信制課程での限られた進路指導の機会の中で、様々な事情を抱えた生徒に対し、どのような観点を重視して指導をすべきかの指針がおぼろげではあるが見えたように思う。調査結果が示す通り、対象生徒の傾向として、今と未来、未来の自分、なりたい自分、なりたい未来、その未来から逆算した今、まずはそういったものを、より鮮明に、リアルに想像させることが必要である。今回の結果をもとに今後、彼らの想像力を刺激するプログラム内容、また1クール目で行った内容をより深化させたプログラムの作成に努めたい。さらに対象者の分母を増やし今回の調査結果から導き出された仮説をクリアなものにしていきたい。

4. 資料

キャリア意識に関するアンケート (初回)

高校 1 年生、2 年生を対象にしたキャリア意識を測るためのアンケートです。

みなさんが将来、どのようなポジションをもって社会へ出ていくかをお聞きし、その結果を今後、後輩たちに役立てていきたいと考えています。このアンケートは、本研究のみに使用し、情報を外部に流出することはありません。

お名前					学年					年生
家族構成	おじいちゃん	おばあちゃん	父	母	兄	姉	弟	妹	その他	
					人	人	人	人		
バイト経験	有	無	バイト経験「有」を付けた方におたずねします。一番長く続いたバイト、または現在のバイトについてご回答ください。							
			⇒	バイト先の 勤務期間	年	ヶ月	日	勤務回数	週に	回

以下の各質問に対して、自分にとって最もあてはまると思うところに○を付けてください。

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらもない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
例) 自分の未来は明るいと思う		○			
(1)自分なりの個性を大切にしている					
(2)自分の夢をかなえようと意欲に燃えている					
(3)自分のはびのびと生きていると感じる					
(4)自分はひとりぼっちと感じる					
(5)みんなと意見が違っても、自分の意見を言うことができる					
(6)無理に人に合わせようとして、きょうくつな思いをしている					
(7)思いやりをもって他者とかわることは大事だと思う					
(8)自分のやるべきことは責任をもってやり遂げる					
(9)過去の失敗をくよくよ後悔しない					
(10)難しいことでも、やる気を出せば、できると思う					
(11)友達とけんかをして、うまく仲直りができると思う					
(12)時間を無駄にしたくない					
(13)保護者からの自分への期待が高いと感じる					
(14)休みがたくさんもらえることは大事だと思う					
(15)自分ができる仕事は世の中にたくさんあると思う					
(16)自分の未来は明るいと思う					
(17)お金をかせぐことは大事だと思う					
(18)何でも最後は自分で決めたいと思う					
(19)今日取り組んだ学習は、自分の将来に役立つと思う					

ご協力ありがとうございました。

キャリア意識に関するアンケート (2回目以降)

高校1年生、2年生を対象にしたキャリア意識を測るためのアンケートです。

みなさんが将来、どのようなビジョンをもって社会へ出ていくかをお聞きし、その結果を今後、先輩たちに役立てていきたいと考えています。

このアンケートは、本研究のみに使用し、情報を外部に流出することはありません。

以下の各質問に対して、自分にとって最もあてはまると思うところに○を付けてください。

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらでもない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
例) 自分の未来は明ると思う		○			
(1)自分なりの個性を大切にしている					
(2)自分の夢をかなえようと意欲に燃えている					
(3)自分のはびのびと生きていると感じる					
(4)自分はひとりぼっちと感じる					
(5)みんなと意見が違っても、自分の意見を言うことができる					
(6)無理に人に合わせようとして、きゅうくつな思いをしている					
(7)思いやりをもって他者とかわることは大事だと思う					
(8)自分のやるべきことは責任をもってやり遂げる					
(9)過去の失敗をよくよく後悔しない					
(10)難しいことでも、やる気を出せば、できると思う					
(11)友達とけんかをして、うまく仲直りができると思う					
(12)時間を無駄にしたくない					
(13)保護者からの自分への期待が高いと感じる					
(14)休みがたくさんもらえることは大事だと思う					
(15)自分ができる仕事は世の中にたくさんあると思う					
(16)自分の未来は明ると思う					
(17)お金をかせぐことは大事だと思う					
(18)何でも最後は自分で決めたいと思う					
(19)今日取り組んだ学習は、自分の将来に役立つと思う					

ご協力ありがとうございました。

ジョブスキルトレーニング第 1 回

序 職に就く

将来あなたはどんな仕事に就きたいですか？

「やりたい仕事」はありますか？「できる仕事」を選ぶという考え方も大切です。

人の一生を 80 年間と考え、学校を卒業してからの時間の方が長いです。

その長い時間をあなたは何をして過ごしますか？

「世の中お金が全てではない」という言い方があります。

仮にそうとして、生きていく(生活していく)ためには最低限のお金は必要です。

そのお金をあなたはどのようにやって作りますか？

自分のどんな力をお金と「交換」しますか？

体力、知識、技術、その他…。

1-1 職を辞す

色々な思い、様々なプロセスを経てようやく就いた仕事。卒業後に就いた仕事を 3 年以内に辞める人の割合は直近

過去 10 年間(2006 年～2015 年)の平均で

中学卒 … 64.9%

高校卒 … 40.1%

大学卒 … 31.6%

となっています。

1-2 人が仕事を辞める 3 つの大きな理由



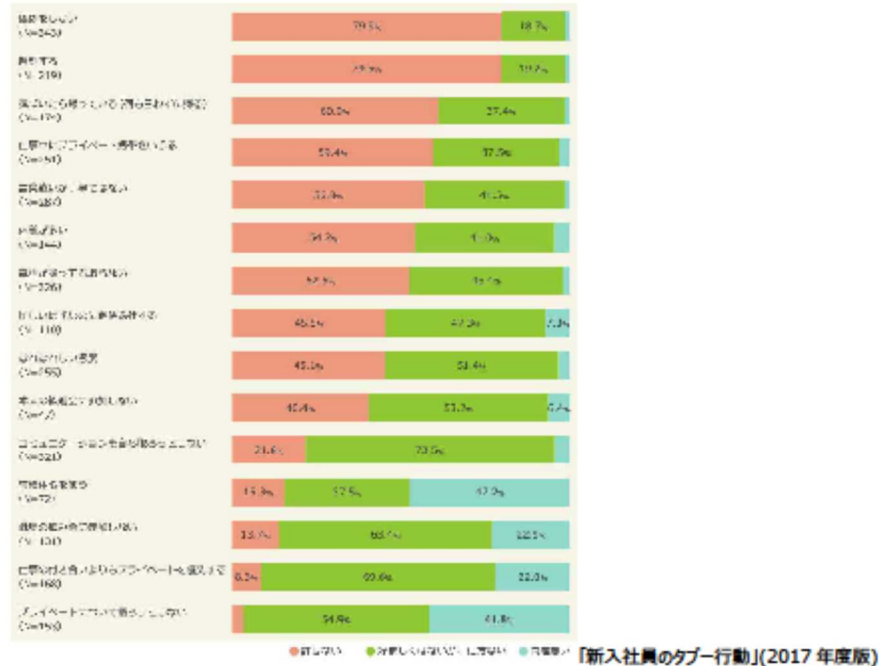
業務内容 → 仕事が合わない、興味がもてない
資格を活かせない など

待遇 → 給料が安い、残業が多い
休日が少ない など

人間関係 → 上司が嫌な人、どうしても許せない人が
いる など

2-1 対人技術

ある調査会社が全国の働く男女 1,000 名を対象に行った「新入社員のタブー行動」についての調査の結果。



2-2 挨拶

挨拶は最初に相手に向けて放たれる言葉であり、容姿や服装同様、第一印象の決め手のひとつです。みなさん挨拶は「挨拶をする相手」のためにしていると思いませんか。それは間違いです。

挨拶は自分自身のためにするものなのです。

これが大きなポイントです。相手のためにしていると思っている人はいつまでも「やらされている感」、「義務感」がついてまわってしまいます。

作法(挨拶)は自分の身を守る鍵 by 三島由紀夫

そのことに経験として気がつくには「中年」と言われる年齢くらいにならないといけないのかもしれませんが。これまでずいぶん損をしてきました。

2-3 挨拶をしない/できない人の心理

- ・そもそも挨拶が必要なものだと思っていない → 仕事、職場という場面では NG
- ・返ってこないかもしれないという不安 → 挨拶はするものという前提。勇気を出しましょう
- ・恥ずかしい → //
- ・世間の常識なんてもんから自由な自分でいたい → 中 2 病
- ・人の好き嫌いがあすぎる → ごと

第11回 挨拶 ロールプレイ

氏名 _____

所属 _____

● シチュエーション① 船

パターン1 気付いた点	改善が必要な点
パターン2 気付いた点	改善が必要な点
パターン3 気付いた点	改善が必要な点

● シチュエーション③ 私帰る

パターン1 気付いた点	改善が必要な点
パターン2 気付いた点	改善が必要な点
パターン3 気付いた点	改善が必要な点

● シチュエーション② 人帰る

パターン1 気付いた点	改善が必要な点
パターン2 気付いた点	改善が必要な点
パターン3 気付いた点	改善が必要な点

○現在、仕事やアルバイトをしている人で、職場での行動や立ち振る舞いについて疑問に思っていることがある人は自由に記入してください。

--

○感想

--

別添 1-B

スタッフ実演

後輩Aと先輩Bは、文具メーカーに勤務

シチュエーション① ～朝～

朝、後輩Aが出社した際に、先輩Bに出社時の挨拶

○会話の流れ
 後輩A おはようございます。
 先輩B ああ、おはよう。

●パターン1
 後輩A おはようございます。
 先輩B ああ、おはよう。

●パターン2
 後輩A おはようございます。
 先輩B ああ、おはよう。

●パターン3
 後輩A おはようございます。
 先輩B ああ、おはよう。

目ざけて
 首だけお辞儀
 ポケットに手
 おざあ～ず

目線あわせる
 上半身からお辞儀
 ポケットはず
 清舌ふつう

全ての動作をまとめて
 直立不動
 最敬礼

シチュエーション② ～先輩B先に帰宅～

夕方、先輩Bが後輩A(PC作業中)に退社時の挨拶

○会話の流れ
 先輩B お先。
 後輩A お疲れさまです。

●パターン1
 先輩B お先。
 後輩A お疲れさまです。

●パターン2
 先輩B お先。
 後輩A お疲れさまです。

●パターン3
 先輩B お先。
 後輩A お疲れさまです。

目線PC
 作業継続

目線あわせる
 作業継続

全ての動作をまとめて
 直立不動
 最敬礼

シチュエーション③ ～先輩A先に帰宅～

夕方、後輩Aが先輩B(PC作業中)に退社時の挨拶

○会話の流れ
 後輩A お疲れさまです。
 お先に失礼します。
 先輩B お疲れさま。

●パターン1
 後輩A お疲れさまです。
 先輩B お疲れさま。

●パターン2
 後輩A お疲れさまです。
 お先に失礼します。
 先輩B お疲れさま。

●パターン3
 後輩A お疲れさまです。
 お先に失礼します。
 先輩B お疲れさま。

目線あわせる
 上半身からお辞儀
 清舌ふつう
 お先～言わない

目線あわせる
 上半身からお辞儀
 清舌ふつう

全ての動作をまとめて
 直立不動
 最敬礼

リョウブスからストレス対策書
 印刷用紙をダウンロード

ストレスと上手につき合おう！

～楽しい毎日を送るためだ

なぜ、ストレス対処が重要か？

理由1 ストレス対処をしないと、ストレスが高まり続け、職務遂行や職場での対人関係に影響を及ぼすおそれがあるから。

理由2 ストレスは、職業生活で常に発生し得るものであるから。

ストレスって？

ストレスとは・・・
なんらかの刺激が体に加えられた結果、体が示したゆがみや変動

ストレスを受けていない状態

ストレスを受けている状態

ストレスを受けると

ストレスによって顕著すると、さまざまな心身の病気になりやすくなります。

うつ病

- ・憂うつ
- ・不眠
- ・怠り
- ・集中力がない
- ・あせり
- ・やる気がでない
- など

神経症

- ・パニック障害
- ・強迫症
- ・強迫神経症
- など

心身症

- ・胃腸病(かいよう)
- ・過敏性大腸炎(かいびんせいだいちょうえん)
- ・ぜんそく
- ・頭痛
- ・アトピー性皮膚炎
- ・アレルギー
- など

ストレス

ストレス

ストレス

ストレス

ストレス対処法①

ストレスのもとになる「ストレッサー」を軽減する・避ける

ストレスマネジメント

ストレスマネジメントとは・・・
ストレス耐性を高める方法の練習

⇒

ストレスに強くなる考え方や行動と、それを練習すること

⇒

「ストレスは自分が心がければある程度コントロールできるものである」という考えを忘れない

ストレス対処法③

ストレスに対する体の反応をやわらげる

緊張をとる体操

リラックス呼吸

ストレス対処法②

ストレスを感じにくい「考え方」を身につける

少し難しかったりから練習できる「考え 実践的」

+

いろいろな角度から練習できる「考えのみ 多角的」

⇒

ストレスを感じにくくなる

ストレス対処法④

お医者さんやカウンセラーに手伝ってもらおう

快適な環境の作り方のコツ

- 押し切る 断りするごと、断りにくいことをはっきり分ける
- 人間関係 相談である、信頼できるひとをつくる
- 休む 休み方が大切!

人間関係を良くする3つのコツ

お互い良い関係になるには、まず、自分が相手にとって魅力的な人間にならなくてはなりません。

1. 自分をやらせない
2. 好き・嫌い、他人の人間性（性格）の相違ではなく、お互いの関係の作り方（お互いの関わり方）から生まれる相違であることを理解する
3. 相手陣にとっという行為を判断する必要があり、ということに気付く

相談できるところ

1人で悩まず、相談できるところを上手に活用してください

お疲れさまでした。

呼吸法

<呼吸法とは？>

呼吸法とは、「息を口から吐き、鼻から吸う」という動作を腹式呼吸で意識的にゆっくりと行うことによって、心拍を安定させたり気持ちを落ち着かせたりしてリラクゼーションを促す方法です。

呼吸は、生命維持にとって必要なものですが、それと同時に心や精神の動きとも密接な関係にあります。人間は、緊張や焦りを感じたり興奮状態になったりすると、呼吸が乱れたり荒くなったりすることはよく知られていますが、呼吸法は、逆に呼吸を整えることによって、気持ちを落ち着かせたりリフレッシュしたりすることをねらいとしています。

<呼吸法を行う際の留意点>

- ・ 呼吸法をする際は、息を口から吐き、鼻から吸うようにし、腹式呼吸で行うようにします。
- ・ ペースがよく分からない場合は、時計の秒針の速さに合わせてカウントしてみましょう。
- ・ 途中でめまいがしたり、気分が悪くなったりしたら、すぐに中止しましょう。

【呼吸法の進め方】

- ・ 立った状態で、足は肩幅に開きます。
- ・ 自分が「携帯ストラップのぬいぐるみ」になったつもりで、頭のてっぺんからひもで吊るされているイメージで姿勢を正します(尾骨をおこし、肩を下げ、あごを引きます)。
- ・ 両手をおへソの下に当てて、目をつむります(丹田を意識します)。
- ・ 1セットは「吐く→吸う」の順番です。
- ・ 息は口から吐いて、鼻から吸います(苦しい場合は口から吸ってもよい)。
- ・ 10秒間使って息を吐き、5秒間吸います(吐く時間は吸う時間の倍の長さ)。
- ・ 丹田に集中し(両手はおへソ)、吐いた時お腹がへこみ、吸った時にお腹が膨らむことを意識します。
- ・ 吸った時に肩が上がらないよう心がけましょう(膨らむのはお腹だけ)。

ストレッチ

「デスクワークの途中でちょっとストレッチ」(椅子に座って卓上でできるストレッチ)

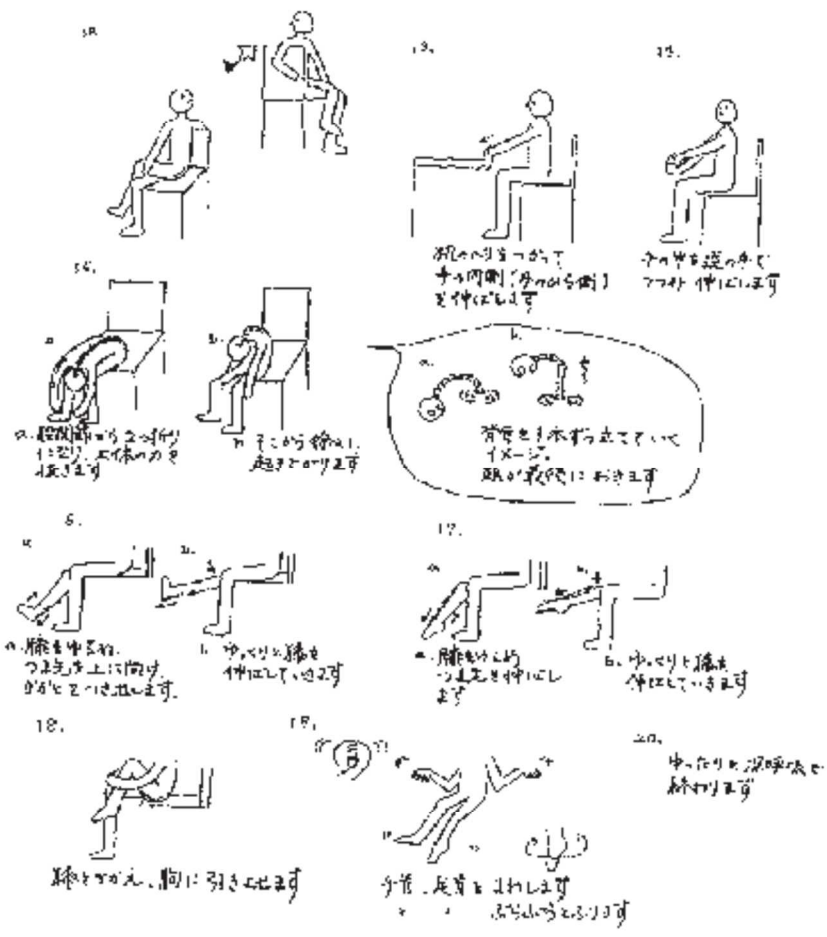
デスクワークの途中でできるストレッチ

〈注意法〉

- ・伸ばしているところを意識する
- ・呼吸を止めない→息をゆくり吐き出す
- ・安定した姿勢で行う
- ・痛みを感じるところまでやらない(こらえなく)
- ・一ヶ所 10~20秒程度行う

※ 2回ずつ行うこと





ジョブスキルトレーニング第3回

マニュアル作成技能トレーニング

みなさんは「マニュアル」というものを見たり読んだりしたことがありますか。日本語にすると「手引書」、「取扱説明書」という訳になります。意味は「ある条件に対応する方法を知らない者（初心者）に対して示し、教えるために標準化・体系化して作られた文書」とあります。アルバイト経験がある人は職場に「分厚いマニュアルがある」という人もいるかもしれませんが。アルバイト経験がない人も、クックパッドなどレシピサイトを見ながら料理をしたことがあるという人はいませんか。例えば、作りたいメニューがオムライスだとしたら…

- ある条件に対応する方法 … オムライスを作りたい
- 示し、教える … 材料や必要な道具、作業手順など
- 標準化・体系化 … 誰が作っても同じ(ような)ものが・より美味しく作るポイントなど

レシピサイトはまさにマニュアルそのものです。

将来お仕事をするうえで職場のマニュアルを何度も読み返すことがあるかもしれませんが。一方で、自分専用のマニュアルを自分自身で作ることで、仕事内容を早く覚えたり、ミスを少なくしたり、自分にとって快適な職場環境を作る近道になること間違いなしです。

マニュアルを作成するときのポイント

- ① 作業の手順・行動を時系列で書く
- ② 短い文章で書く
- ③ 作業上のポイントを書く
- ④ 必要に応じて、図や表も書く
- ⑤ あいまいな表現は、具体的に(例をあげるなど)して書く

第3回 マニュアル作成 ロールプレイ

材料	_____	Point1 あるブランドのものがいいらしい
----	-------	------------------------

使用する道具		
①	_____	(汚れた机や手などを拭く用)
②	_____	
③	_____	Point2 叩く面がツルツルのもの
④	_____	
⑤	_____	
⑥	_____	
⑦	_____	
⑧	_____	
⑨	_____	

作り方	
①	
②	
③	
④	
⑤	

より美しくするためには	
①	最初の()た段階のキレイさが重要
②	だいぶ()くなるので、最初は()めに
③	ヤスリの()い目でがんばるべし!
④	ヤスリ後の「ピカールケアー」がチート級!

○材料

アルミホイル（三菱アルミニウム） ←このブランドのものがいいらしい 25 cm×8m×2つ

○使う道具

- ① 作業用タオル（汚れた机や手などを拭く用）
- ② 作業用手袋
- ③ ハンマー 長いタイプと短いタイプを2つ ☆叩く側面がツルツルのものをチョイスする！
- ④ 厚めのまな板（テーブルが傷つかないように）
- ⑤ ヤスリ 粗いもの～細かいもの（結構使っていたので多めに）
- ⑥ 鏡面コンパウンド（車を磨くときなどに使うもので今回の最後の仕上げ用）
- ⑦ 耐水サンドペーパー
- ⑧ アルミみがきクロス
- ⑨ ピカールケア

○作り方

- ① アルミホイルを丸めていく
- ② 丸さを整えていく
- ③ ハンマーで叩いていく
- ④ ヤスリで磨き上げる
- ⑤ クリームで仕上げる。

○より美しくするためには

- 1、最初の丸めた段階の綺麗さが重要
- 2、だいぶ小さくなるので、最初は大きめに
- 3、ヤスリの粗い目で頑張るべし！
- 4、ヤスリ後の『ピカールケア』がチート級！